



託北だより「あすなろ」No.29

「和」～敬・愛・信～

令和6年7月19日（金）

熊本市立託麻北小学校

文責：小倉 秀俊



HPコード

☀ 雨の季節が終わり、夏休みを迎えようとしています。保護者の皆様のご協力により、1学期を終えることができました。ありがとうございました。特に、1年生は、初めての学校生活で、戸惑うことも多かったと思いますが、様々な体験を通して成長することができました。また、最上級生となった6年生は、1年生のお世話や行事、委員会活動を通して、学校のリーダーとしての自覚が出てきたようです。他の学年の子どもたちも、日々、友だちと関わる中で成長することができたと思います。2学期は、運動会や北っこフェスタ、各学年の見学旅行に6年生の修学旅行と、たくさんの行事が予定されています。さらなる成長を期待しています。

さて、以下、7月19日の終業式で話した内容です。

みなさん おはようございます。

今日は、7月19日金曜日、1学期最後の日です。この1学期間、みなさんは何を頑張りましたか。勉強、部活動、スポーツ、遊び、ボランティア活動、委員会活動、5年生は集団宿泊教室がありました。充実した1学期になったことと思います。

さて、1学期の最初に校長先生からみなさんをお願いしたことが2つありました。覚えていますか。

一つ目は、「いじめは絶対にしない」です。どうですか、守れましたか。6月の集会で、いじめを受けた心はどうか、お話ししましたね。「暴力」や「暴言」の矢が刺さった心は、矢が抜けた後も傷が残るという話をしましたね。クラスでも、「なかよし三か条」を考えて、取り組んでいることと思います。これからも、みんなが安心して楽しく生活できる託北小をめざしましょう。

二つ目は、「事故に遭わない」です。

どうですか。できましたか。朝の登校の様子を見ていると、横断歩道のない車の道を横切ったり、狭い歩道を横になって歩いたり、見ていてヒヤッとすることがありました。自分の身は自分で守る。そのためにも交通ルールをしっかりと守りましょう。うれしかったのは、あいさつの声が大きくなってきたことと、横断歩道で止まってくださった運転手さんにお礼のあいさつをする人がいたことです。これからも続けてほしいと思います。

さて、明日から夏休み。楽しみですね。旅行などいろいろ計画している家庭もあるかもしれませんが、でも、イベントばかりが大切ではありません。



夏休みは、時間割もチャイムもありません。自分で考えたスケジュールで生活することができます。また、読書や植物の観察、いろいろな実験など、日頃できないこともできます。ぜひチャレンジしてみてください。校長先生は、家の中の片づけとジョギングにチャレンジしたいと思います。もう一つありますが、それは秘密です。

これから暑さが本番になります。特に昼間は危険です。水分や栄養、睡眠をしっかりとって熱中症には十分注意してください。また、自転車に乗る機会が増えると思います。ヘルメットをしっかりとかぶって、交通事故にあわないように十分注意してください。

8月29日（木）に、元気なみなさんとの再会を楽しみにしております。これでお話を終わります。静かに聴いてくれてありがとうございました。

☀️「スマホに弱い大人の教科書」

先日の授業参観と学級懇談会、お世話になりました。今回は、懇談会の前に、熊本東警察署の河原田スクールサポーターに来ていただき、SNS 関連のトラブルについてお話をさせていただきました。その際、紹介された「スマホに弱い大人の教科書」の内容は知らないことばかりで、「眼から鱗」状態でした。中には、かなり深刻な実例も紹介されていました。その中で一番印象に残ったのが、「スマホにおける大人と子どもの感覚の大きなズレ」です。生まれる前から普及していたスマホは、子どもたちにとって特別ではなく、当たり前にあるものだという。だからこそ、抵抗なく使うことができるのでしょう。しかし、自動車と同じで、使い方を間違えると凶器にもなります。そのような内容が、イラストや平易な言葉で説明されていて、とても分かりやすい冊子になっています。ご家庭で子どもたちと一緒に読まれてはいかがでしょうか。



☕ コーヒーブレイク



夏と言えば思い出すのが「茗荷（みょうが）」です。実家の裏に、茗荷が生えていて、夏になると、茗荷の芽がみそ汁の具として入っていました。子どものころは、その茗荷が苦手で、茗荷だけ取り除いてこっそり捨てていました。その風味は強烈で、汁にも残っていました。仕方なく一気飲みです。その茗荷、今では、酢漬けは丸のまま食べます。冷やっこには薬味としてのせませす。味覚が変わったのか鈍感になったのかわかりませんが、大好きになりました。にがうり（ゴーヤ）も同じで、夏には欠かせない食材です。先日、栄養教諭の丹波先生が、ゴーヤを食べてもらうために苦労されている話を聞きました。先日は、チップスにしてありました。香ばしくて、私はおいしく食べました。



横山忠克先生作